

授業科目(ナンバリング)	介護総合演習Ⅱ (DD311)			担当教員	久田 貴幸 大町 いづみ 浦 秀美		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本演習は、3年次実習「介護実習Ⅱ」と連動させ、介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を身につけることとする。介護実習Ⅱは身体障害者や高齢者サービス事業所等での実習を行うため、サービス事業所についての特徴や内容について理解をし、介護を展開する力を身につける。また、障害者・児事業所、高齢者介護サービス事業所の理解と各事業所の理解や、利用者の生活問題について、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなどを通し、考察を行い表現できるスキルを身につける。本演習によって、本学のディプロマポリシーでも示されている、専門的知識・技術を修得し、様々な課題解決を図ることができることをねらいとする。							①④⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	実習先の概要や組織、利用者について理解し、説明できる。 実習を振り返り発表できる。残された課題を述べるができる。				実習計画書 発表	10% 40%	
情報収集、分析力	実習評価（他者評価）を自己分析できる。 実習施設に関する情報を収集しまとめることができる。 自己覚知をした上で、実習プロフィールを更新することができる				評価レポート 実習計画書 実習プロフィール表	10% 5% 5%	
コミュニケーション力	実習後の報告会で他の学生と意見を交わし合うことができる。 グループ構成員と意見を交わしながら発表準備に取り組むことができる				実習後報告会 発表	10% 10%	
協働・課題解決力	実習課題を的確に把握し、施設スタッフと協力し課題解決に向けた計画を立案し、着実に実行することができる。				評価レポート	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習計画書（15%）：実習要綱や自身が取り組みたいことを計画書に反映しているかによって評価する。 ・ 発表（50%）：授業内で実施する発表にて評価する（発表スキル、研究成果レポートをもとにした発表原稿）。 ・ 評価レポート（20%）：実習評価の自己分析や残された課題についてレポートしているかによって評価する。 ・ 実習プロフィール表（5%）：自己覚知に基づいたプロフィール作成にて評価する。 ・ 実習後報告会（10%）：実習報告会に向けた準備状況や報告状況にて評価する。 <p>実習 OR や指導は、学内外・授業時間外、又、ポートフォリオを通して実施する。評価レポート返却や発表時の教員コメントにてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>本演習は、介護実習Ⅱに必要な知識や技術について、学修内容を踏まえ、主体的な学修で授業を展開する。学生の学修到達状況に応じグループワークでのディスカッションに取り組み、個別指導を実施する。各教科の統合や、各施設・事業所の理解、介護の知識と技術の確認、実習後の振り返りを行い、実習課題を明確にする。特に介護過程と具体的な統合を意識して行う。また、本授業における理解度の確認として、レスポンス等の ICT を活用することで、双方向型の授業を展開する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：最新・介護福祉士養成過程 10 「介護総合演習・介護実習」（2019） 中央法規出版 長崎国際大学介護福祉実習要綱・本学実習関連書類・記録等 その他、必要に応じて資料を提示する。</p> <p>参考書：久田則夫『福祉の仕事でプロになる』 中央法規 （2016）</p> <p>指定図書：教科書と同じ</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本授業では、介護実習を意識した知識や技術の再確認、実習課題の整理を行う。実習課題がクリア出来るように個別のレベルに応じた指導を実施する。指導された内容は、素直に受け止め、柔軟な発想ができる様な心構えをしておく。授業外の日程における集中指導を行うので、スケジュール管理は必須であるため、各自で適宜確認すること。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	介護実習Ⅰの振り返り①	介護実習Ⅰにおける学びの内容をもとに、資料を用いてプレゼンテーションを行う。(大町・久田・浦)	予習：資料の準備を行う 復習：他者のプレゼン内容をまとめる
2	介護実習Ⅰの振り返り②	介護実習Ⅰにおける学びの内容をもとに、資料を用いてプレゼンテーションを行う。(大町・久田・浦)	予習：資料の準備を行う 復習：他者のプレゼン内容をまとめる
3	実習オリエンテーション①	介護実習Ⅱの概要や実習までのタイムスケジュールを確認する。(久田)	予習：実習要綱の確認 復習：配付資料の再読
4	実習オリエンテーション②	実習要綱等を用いて、介護実習Ⅱの意義や目的を理解し、実習における留意点の確認を行う。(久田)	予習：実習要綱の確認 復習：演習内容をまとめる
5	実習オリエンテーション③	実習要綱等を用いて、介護実習Ⅱの意義や目的を理解し、実習における留意点の確認を行う。(久田)	予習：実習要綱の確認 復習：演習内容をまとめる
6	知識・技術の統合①	介護実習Ⅱに必要な知識・技術の復習や、事例等を用いて学びを深める。(久田)	予習：知識・技術の復習 復習：配付資料の再読
7	知識・技術の統合②	利用者や実習指導者とのコミュニケーションの方法について、これまで学んだ内容を再学修する。(久田)	予習：コミュニケーション技術の再確認 復習：演習内容をまとめる
8	知識・技術の統合③	介護実習先の正式名称の確認を行い、自己紹介の文章作成を通じて、自身の長所・短所・これまでの活動等を振り返る。(久田)	予習：実習自己評価の検討 復習：自己評価と他者評価の振り返り
9	知識・技術の統合④	実習先の施設や事業所に関する事前調査を行い、実習先が持つ機能や担う役割を理解する。プロフィール表、実習計画書を完成させる。(久田・大町・浦)	予習：実習先を調べる 復習：配付資料の再読
10	実習前の事前学習	事前学修で行った内容をまとめて発表を行う。他者の発表を聴講することで学びを深める。(久田・大町・浦)	予習：発表の準備を行う 復習：配付資料の再読
11	実習前の事前学習を発表	考察と感想の違いを理解し、各実習記録の記載方法を学ぶ。(久田)	予習：実習記録用紙の確認 復習：実習記録方法についてまとめておく
12	実習前オリエンテーション	介護実習における情報の取り扱いと注意事項の確認、実習の進め方、記録の提出など最終確認を行う。(大町・久田・浦)	予習：実習先の再確認 復習：配付資料の再読
13	介護実習後の確認	介護実習Ⅱを終えて、実習施設へのお礼状の作成や各レポートの作成・実習報告会についての確認を行う。(久田・大町・浦)	予習：個人情報・守秘義務・プライバシーの確認 復習：演習内容をまとめる
14	介護実習Ⅱの振り返り①	介護実習Ⅱにおける学びの内容をもとに、資料を用いてプレゼンテーションを行う。(久田・大町・浦)	予習：資料の準備を行う 復習：他者のプレゼン内容をまとめる
15	介護実習Ⅱの振り返り②	介護実習Ⅱにおける学びの内容をもとに、資料を用いてプレゼンテーションを行う。(久田・大町・浦)	予習：資料の準備を行う 復習：他者のプレゼン内容をまとめる